

神奈川県震災建築物 応急危険度判定講習会

技術編

参考資料

1995年阪神・淡路大震災スライド集 日本建築学会、土木学会
平成7年阪神・淡路大震災木造住宅等震災調査報告書 木造住宅等震災調査委員会
平成7年度阪神・淡路大震災建築震災調査委員会報告書一集大成一

神奈川県建築物震後対策推進協議会

目次

1. 応急危険度判定制度の概要

(1) 制度の目的	1
(2) 神奈川県震災建築物応急危険度判定士認定要綱	2
(3) 関係機関	6
(4) 制度の位置づけ	8
(5) 災害補償	9
(6) 応急危険度判定活動体系図	10
(7) 判定の基本的事項	12
(8) 判定の流れ	13
(9) 判定標識（判定ステッカー）の例示	17

2. 判定士会と連絡体制に関する事項

(1) 判定士会	18
(2) 神奈川県震災建築物応急危険度判定士会設置要綱	18
(3) 電話連絡網	21
(4) 判定活動協力要請の連絡	21
(5) 応急危険度判定フローチャート	22

3. 判定活動の協力要請があった時の対応

(1) 協力要請に対する意思の決定	24
(2) 判定活動参加への準備	24

4. 判定活動に関する事項

(1) 被災市町村災害対策本部との関係	25
(2) 判定作業	25
(3) 安全確認	26
(4) 居住者等との対応	26
(5) 居住者等との対応例	27

5. 応急危険度判定調査表記入マニュアル （全国基準）

○木造建築物	29
○鉄骨造建築物	37
○鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等	45

6. 判定調査参考資料

○木造建築物	55
○鉄骨造建築物	70
○鉄筋コンクリート造建築物等	76

<メモ及びアドレス> 80

◎ 応急危険度判定業務担当窓口一覧 90

◎ 応急危険度判定士認定に係る
諸手続きについて 93

・ 応急危険度判定士認定申請事項変更届（第5号様式） 95

・ 応急危険度判定士認定辞退届（第8号様式） 97

参考資料

・ 木造建築物の応急危険度判定調査表（記入例）	99
・ 鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表（記入例）	101
・ 鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の 応急危険度判定調査表（記入例）	103

4. 判定活動に関する事項

(1) 被災市町村災害対策本部との関係

- ① 判定を実施する市町村災害対策本部
(判定実施本部)の指揮下に入る。
- ② 判定実施本部のコーディネーターの
指示にしたがって判定作業をする。



4. 判定活動に関する事項

(2) 判定作業

- ① 判定士認定証及び腕章を必ず携帯
- ② 2人1組で役割を決めて
- ③ 短時間に的確かつ能率よく
- ④ 外観目視が原則
- ⑤ 内観調査は実施本部の指示による
- ⑥ 内観調査は居住者のヒヤリングも可
- ⑦ 一見して危険は詳細調査省略
- ⑧ 判断根拠は調査表のコメント欄に



4. 判定活動に関する事項

(3) 安全確認

- ① **無理な行動**はしない。
- ② 建物への接近が危険な場合は、**安全な場所**で判定する。
- ③ **相互に連携**をとりあう。



4. 判定活動に関する事項

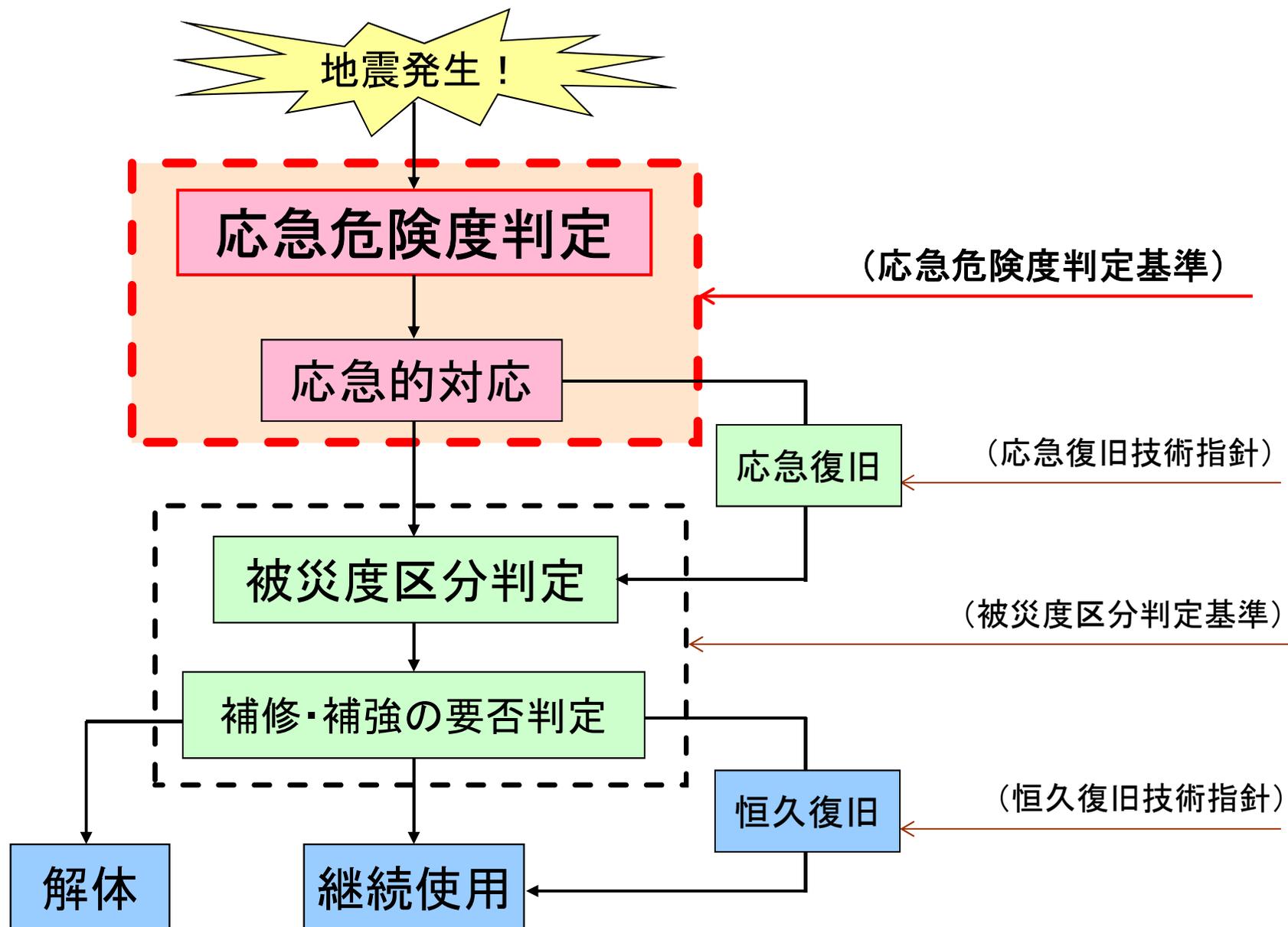
(4) 居住者等との対応

- ① 住民に対して**誠意**を持って行動する。
- ③ 立ち入りは **居住者の了解**を得て、
無用なトラブルは避ける。
- ④ 質問には専門家として**適切な
回答**をする。



(参考) 判定手帳 P. 27 (5) 居住者等との対応例

応急危険度判定と被災度区分判定の関係



応急危険度判定と被災度区分判定の関係

判定手帳 P. 58

② 被災度区分判定の損傷状況ランク

応急危険度判定

(行政と技術者によるボランティア)

余震等による建築物の倒壊の危険性を判定し、二次災害を防止することを目的とする。



危険度ランク
(3段階)

A. 調査済
B. 要注意
C. 危険

被災度区分判定

(建物所有者が技術者に依頼して実施)

損傷の状況を調査し、建築物の適切かつ速やかな復旧に資することを目的とする。



被災度ランク
(5段階)

I. 軽微
II. 小破
III. 中破
IV. 大破
V. 倒壊(破壊)

判定調査表のレイアウト

木造 調査表(手帳P. 99)

集計欄(電算入力を前提としている)

整理番号、調査日、調査者、**建築物概要**等を記入する。

調査1
一見して危険と判定される

調査2
隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

調査3
落下危険物・転倒危険物に関する危険度

総合判定及びコメント

(順番1)

(順番3)

(順番2)

(順番4)

木造建築物の応急危険度判定調査表(記入例)

整理番号 32R-⑥-5 調査日時 〇月〇〇日(土)午後〇〇時 調査回数 〇回目
 調査者氏名(郡道町界/No) 神奈川県 建 男 (神奈川県 〇〇〇〇〇-〇〇〇〇)
 西 部 繁 次 (神奈川県 〇〇〇〇〇-〇〇〇〇)

建築物概要
 1 建築物名称 木 材 中 部 1.1 建築物番号 ⑥-5
 2 建築物所在地 緑が丘〇〇-5 2.1 住宅地区管理番号 32R
 3 建築物用途 戸建て専用住宅 2.長原住宅 3.共同住宅 4.準用住宅 5.店舗 6.事務所
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他()

4 構造形式 ①E制耐震法 2.非制震工法(ハイパー) 3.プレキャスト 4.その他()
 5 階 数 1.平屋 ②2階建て 3.その他()
 6 建築物規模 1階寸法 約 6 m × 9 m

調査 ①外観調査のみ実施 2.内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は□を打付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
 1.建築物全体又は一部の崩壊、落脱 2.基礎の著しい破壊、土留構造との著しいずれ
 3.建築物全体又は一部の著しい傾斜 4.その他()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	①危険無し	2.不明確	3.危険あり
②構造躯体の不同沈下	①無し又は軽微	2.著しい後、陥没の浅い部分、浮き上がり	3.小規模の陥没、床全体の沈下
③基礎の露出	①無露出	2.露出あり	3.著しい(破壊あり)
④建築物の1階の傾斜	①1/60以下	2.1/80~1/20	3.1/20超
⑤壁の被害	①軽微なひび割れ	2.大きな亀裂、剥落	3.著しい危険あり
⑥調査・補修の有無	①ほとんど無し	2.一部の調査欠陥	3.著しい調査欠陥
危険度の判定	①調査済み 全部Aランクの場合(内観調査)	②調査済み Bランクが1以上ある場合	③危険 Cランクが1以上ある場合

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①瓦	①ほとんど無被害	②著しいずれ	3.全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	①ほとんど無被害	②ひび、ひび割れ	3.著しい危険あり
③外壁材 漆喰の場合	①ほとんど無被害	②部分的なひび割れ、剥離	3.剥離が広範囲にわたる
④外壁材 乾式の場合	①目地の亀裂発生	②亀裂が深さが見られる	3.剥離が広範囲にわたる
⑤屋根・屋根材	①被害無し	②わずかな被害	3.著しい危険あり
⑥屋外階段	①被害無し	②わずかな被害	3.著しい危険あり
⑦その他()	①安全	②要注意	3.危険
危険度の判定	①調査済み 全部Aランク	②調査済み Bランクが1以上ある場合	③危険 Cランクが1以上ある場合

総合判定(調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) ② 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント(構造躯体等に危険が、落下物等に危険かなどを記入する。)
 ・外観調査のみ実施
 ・窓ガラス、外壁にひび割れがあるので要注意です。窓ガラスはビニールテープ等で補修して下さい。また、立ち入る際には外壁のひび割れのある箇所に注意して下さい。
 コメントは判定スタッフの注記と同じとする。

判定の流れ

整理番号・建物概要等の記入

調査1 一見して危険か

NO

調査3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

総合判定

YES

危険(赤)

要注意(黄)

調査済(緑)

調査範囲

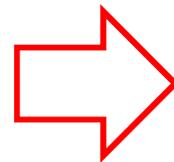
判定手帳P. 32

調査の基本は **外観目視**！

しかし、**内観調査**をおこなうこともある

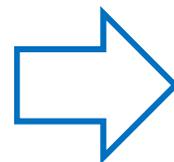
(※ 判定実施本部の指示に従うこと)

外観調査の結果、
全てAランク



内観調査が**望ましい**

外観調査の結果、
B、Cランク有り



内観調査の**必要なし**

調査表(手帳P. 99)

調査3 ③ 外装材 湿式の場合
調査2 ⑤ 壁の被害

どちらも
調査する



木造：外壁モルタルの剥落および落下

調査表(手帳P. 101)

調査3 ④ 外装材 乾式の場合

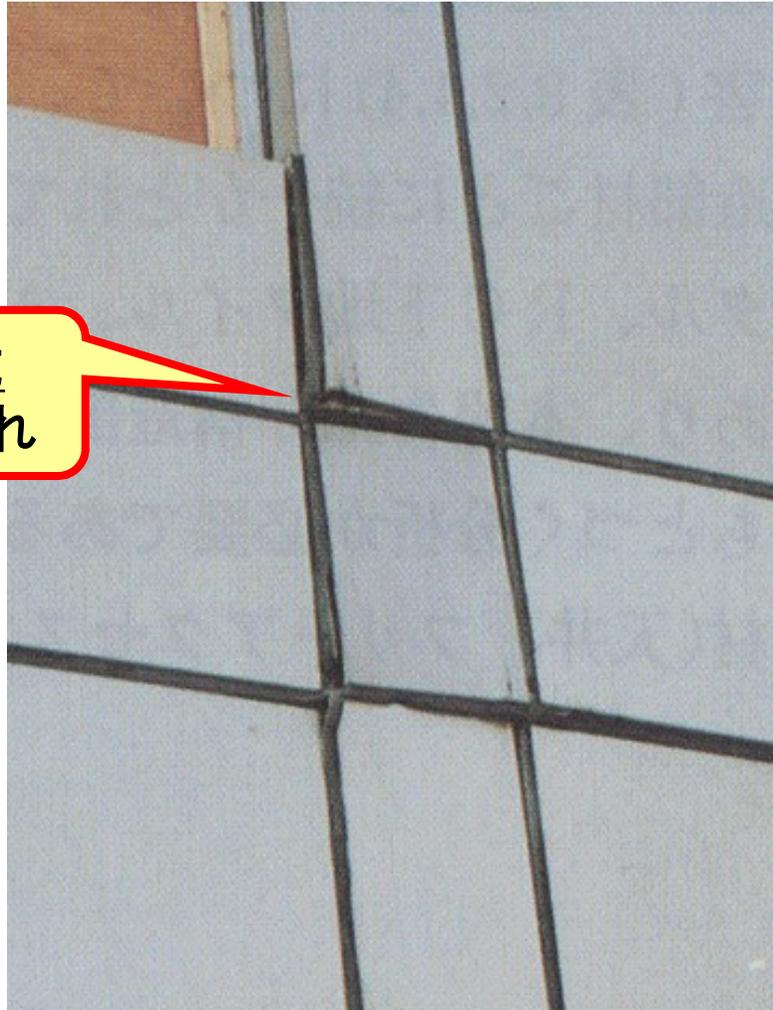


鉄骨造: ALC板の目地破損およびはらみ出し、Cランク

調査表(手帳P. 101)

調査3 ④ 外装材 乾式の場合

外装材 乾式
顕著な目地ずれ



鉄骨造: マルカーテンウォールの目地ずれ、Cランク

判定調査表の共通判定項目

調査表(手帳P. 99、101、103)

調査3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

危険度の判定

1.調査済み
全部Aランク
の場合
(要内観調査)

2.要注意
Bランクが
1以上ある
場合

3.危険
Cランクが
1以上ある
場合

木造建築物の応急危険度判定調査表(記入例)

整理番号 32R-05 調査日時 〇月〇〇日(定)午後〇〇時 調査回数 前日
調査者氏名(都道府県/No) 神奈川県 建築 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
△ 結 核 次 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

建築物概要
1. 建築物名称 木村守福 1.1 建築物番号 05-5 建築物番号 05-5
2. 建築物所在地 神奈川県横浜市 2.1 住宅地図管理番号 32R 05-5
3. 建築物用途 戸建て専用住宅 2. 長屋住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所
7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場
12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場・遊藝場等 16. その他()

4. 構造形式 ①在来木組構法 2. 片組(12F以下) 3. アラフア 4. その他()
5. 階数 1. 平家 2. 階建て
6. 建築規模 1. 床面積 約7.6 m² 2. m

調査 ①外観調査のみ実施 ②内観調査も併せて実施
1. 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
2. 調査対象外又は一部の著しい破損 3. 著しい破損、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜 4. その他()

	Aランク	Bランク	Cランク
①構造建築物・突出部等の破損による危険	①危険無し	②不明確	③危険あり
②構造躯体の劣化状況	①著しい劣化	②著しい劣化、変形の著しきもの、ひび割れ	③小規模の破損、保全体の内、ひび割れ
③基礎の調査	①無被害	②部分ひび割れ	③著しい(破壊あり)
④建築物の傾斜	①1/60以下	②1/60~1/20	③1/20超
⑤壁の調査	①軽微なひび割れ	②大きな亀裂、剥離	③著しい危険あり
⑥床裏・壁裏の調査	①ほとんど無し	②一部の調査欠陥	③著しい調査欠陥
危険度の判定	①調査済み 全部Aランクの場合(要内観調査)	②要注意 Bランクが1以上ある場合	③危険 Cランクが1以上ある場合

3. 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①窓	①ほとんど無被害	②著しいずれ	③全体的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	①ほとんど無被害	②歪み、ひび割れ	③著しい危険あり
③外壁材 漆喰の場合	①ほとんど無被害	②部分的なひび割れ、剥離	③剥離及びひび割れ、剥離
④外壁材 乾式の場合	①目地の亀裂程度	②目地に隙間が見られる	③剥離及びひび割れ、剥離
⑤屋根・屋根裏	①無被害	②わずかな傾斜	③著しい危険あり
⑥外観的危険	①無被害	②わずかな傾斜	③明瞭な傾斜
⑦その他()	①安全	②要注意	③危険
危険度の判定	①調査済み 全部Aランク	②要注意 Bランクが1以上ある場合	③危険 Cランクが1以上ある場合

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント(構造躯体等の危険が、落下等が危険などを記入する。)
- 外観調査のみ実施
- 窓ガラス、外壁にひび割れがあるので要注意です。窓ガラスはビュールテープ等で補修して下さい。また、立ち入る際には外壁のひび割れのある箇所に注意して下さい。
コメントは判定スタンプの注記と同じとする。

判定手帳 P. 33

① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険



隣接建築物の倒壊による危険性あり、Cランク



周辺地盤の破壊による危険性あり、Cランク

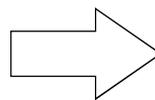
判定手帳 P. 58～59

㊦ 基礎の損傷状況ランク

全体的に基礎と土台が遊離し、
上部構造を支えられない



[被災度区分]
ランクV (破壊)



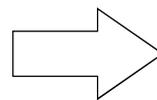
[応急危険度判定]
Cランク

判定手帳P. 58～59

㉗ 基礎の損傷状況ランク



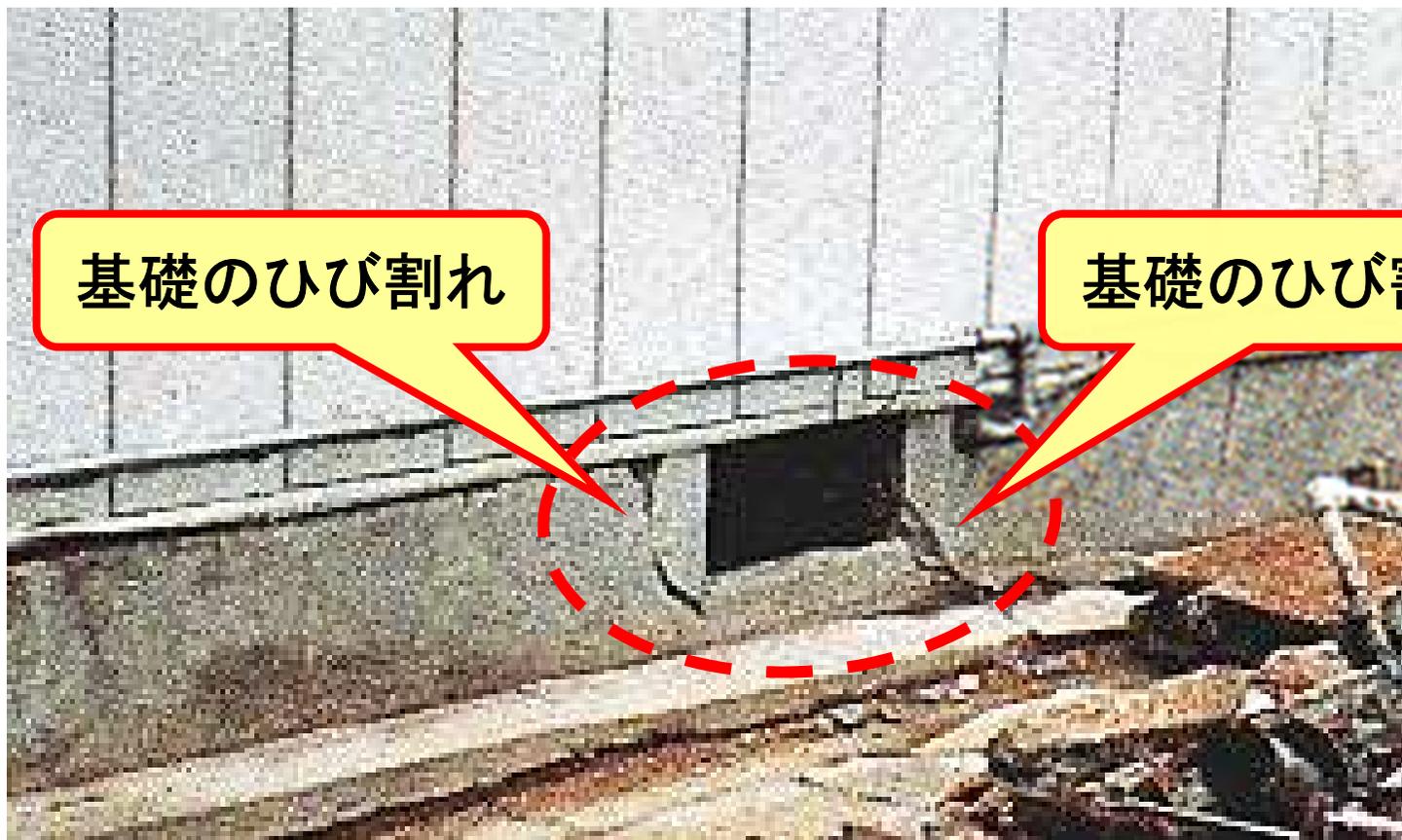
[被災度区分]
ランクV (破壊)



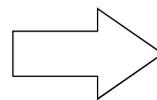
[応急危険度判定]
Cランク

判定手帳 P. 58～59

㊦ 基礎の損傷状況ランク



[被災度区分]
ランクⅢ(中破)

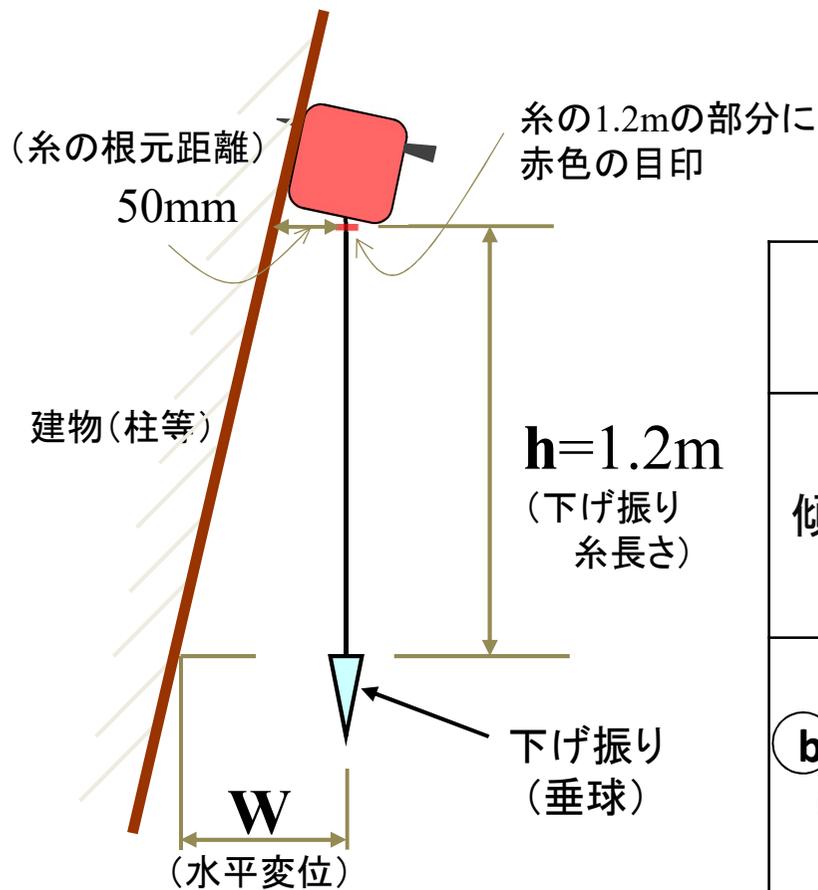


[応急危険度判定]
Bランク

① 建築物の1階の傾斜

傾斜測定法(例)

(※ 表の **①** 欄を見る)



$W = 50\text{mm}$

= **①** 1.2m当たりの水平変位

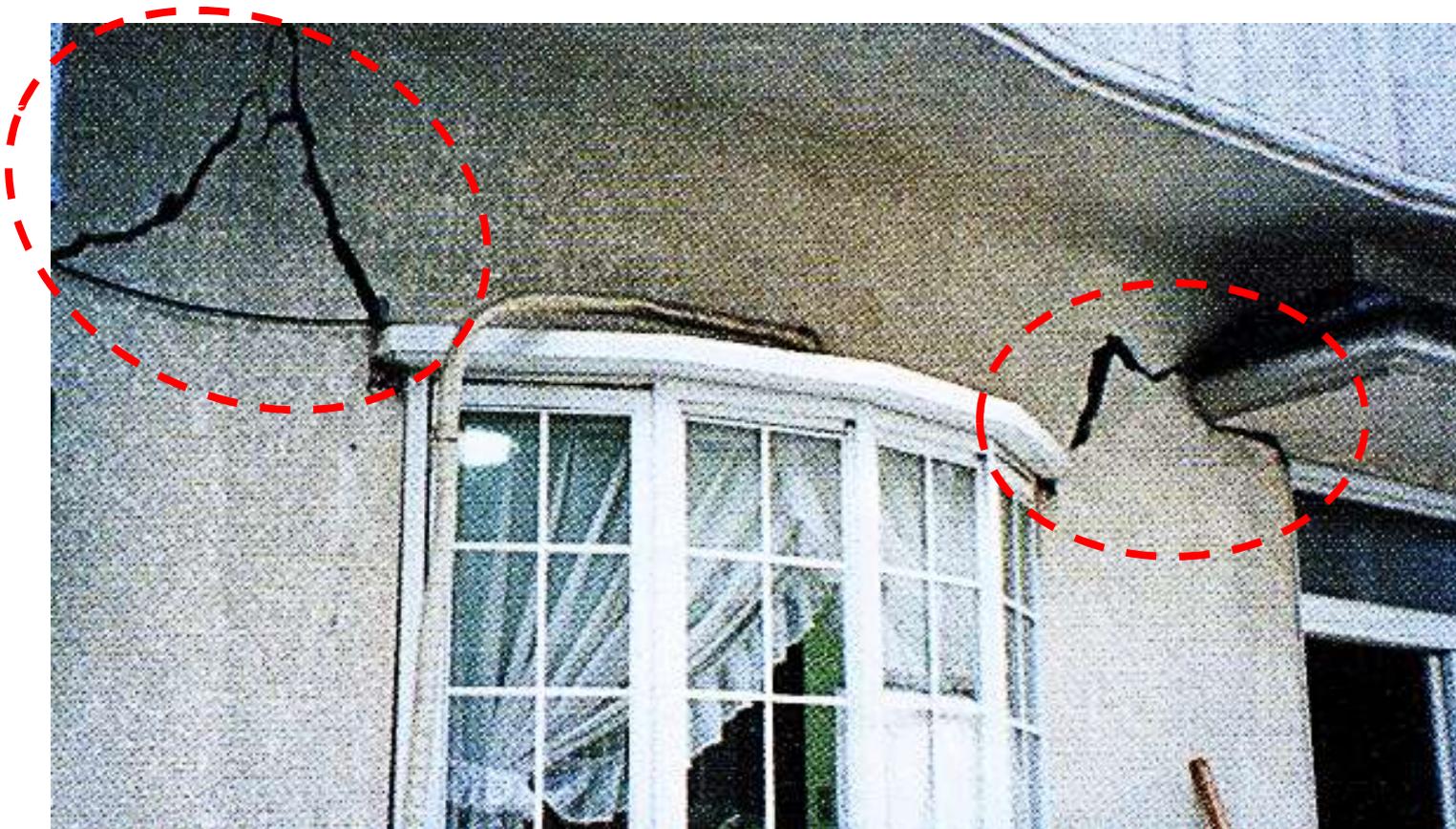
ランク	A	B	C
傾斜(部材角)	1/60以下	1/60~1/20	1/20超
① 1.2m当たりの水平変位	20mm以下	20mm超~60mm以下	60mm超

判定手帳P. 56

㊦ 内外装仕上げの損傷

判定手帳P. 68→P. 58

㊧ 仕上材の損傷状況ランク



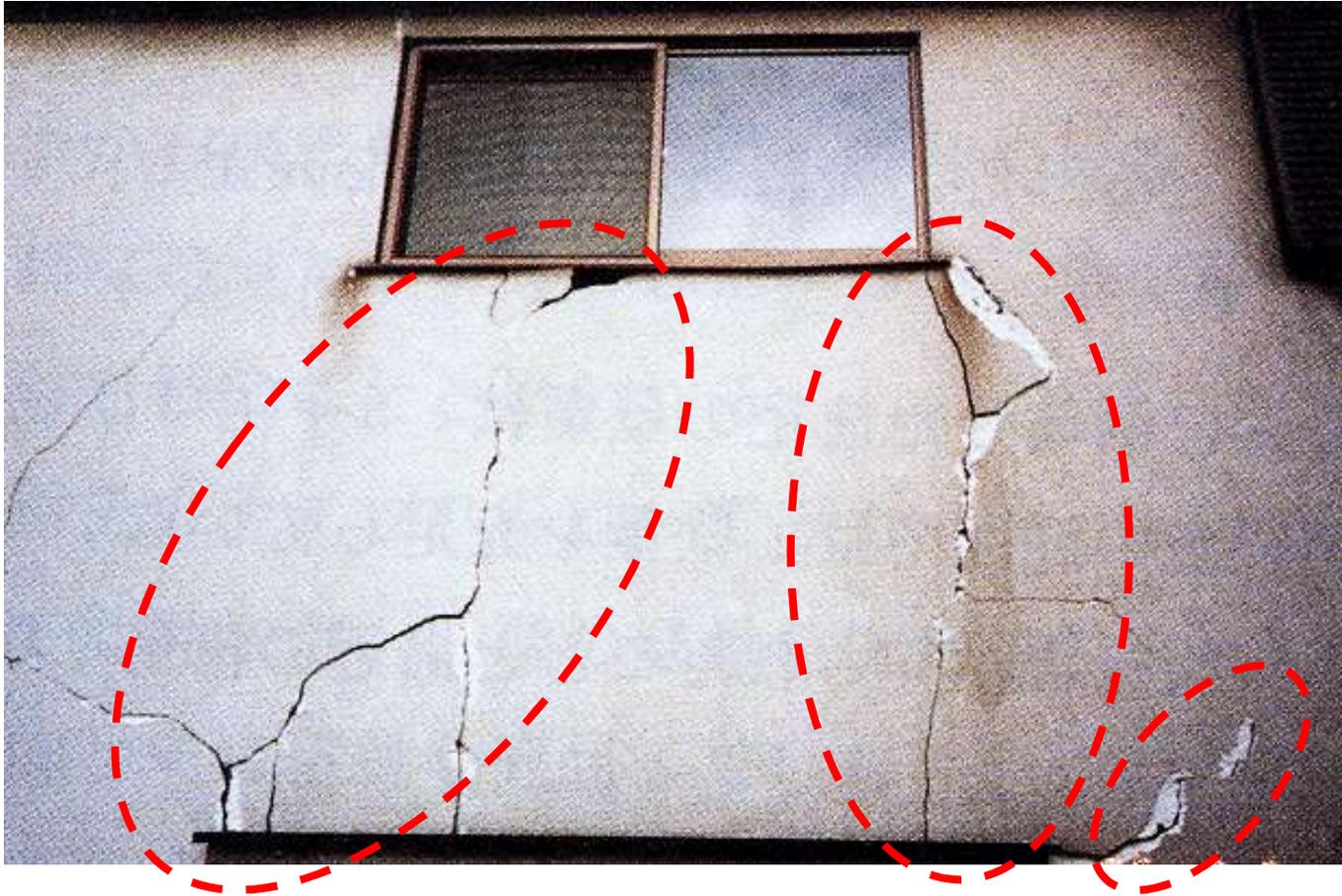
1階外壁のサッシ周りのひび割れ
(Bランク)

判定手帳 P. 56

㊦ 内外装仕上げの損傷

判定手帳 P. 57

㊦ 落下物の危険性



2階外壁のひび割れ
(余震による落下の危険有り、Cランク)

木造の調査

調査表(手帳P. 99)

木造建築物の応急危険度判定調査表(記入例)

整理番号 32R-40-B 調査日時 〇月〇〇日(金) 午後〇〇時 調査回数 〇〇日 建物番号 32R-40-B
 調査者氏名(氏名自記/No) 神奈川 建築 神奈川 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 調査方法 32R-40-B

建築物概要
 1. 建築物名称 木材 〇〇 1.1 建築物番号 〇〇-B
 2. 建築物所在地 緑が丘-〇〇-B 2.1 住宅地図管理番号 32R
 3. 建築物用途 〇 戸建て専用住宅 2. 長屋住宅 3. 異種住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所
 7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場
 12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場・演歌場等 16. その他

4. 構造形式 〇 合木組構法 1. 片組壁(造り) 2. アラマツ 3. その他
 5. 階数 〇 1. 平屋 〇 2階建て 3. その他
 6. 建築規模 1階以下 約 〇 m²

調査 〇 外観調査のみ実施 〇 内観調査も併せて実施
 1 一見して危険と判定される (該当する場合は〇を付し危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の階・造幣	2. 基礎の著しい破壊、土留構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他

隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	〇 危険無し	1. 不明確	2. 危険あり
② 構造躯体の不応力	〇 無し又は軽微	1. 著しい用、変形の著しき部分、浮き上がり	2. 小規模の破壊、床全体の沈下
③ 基礎の被害	〇 無被害	1. 軽微	2. 著しい(破壊あり)
④ 建築物の1階の傾斜	〇 1/800以下	1. 1/600-1/200	2. 1/200
⑤ 傾斜の程度	〇 軽微なり形	1. 大きな亀裂、剥離	2. 著しい傾斜あり
⑥ 水漏れ・腐朽の有無	〇 ほとんど無し	1. 一部の無家火結	2. 著しい無家火結
⑦ 危険度の判定	〇 調査済み 全Aランクの場合	1. 調査済み Bランクが1以上ある場合	2. 危険 Cランクが1以上ある場合

① 調査済(緑) ② 要注意(黄) ③ 危険(赤)

総合判定(調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2の3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント(構造躯体等が危険な、著下物等の危険などを記入する。)
 ・外観調査のみ実施
 ・窓ガラス、外壁にひび割れがあるため要注意です。窓ガラスはビームテープ等で補修して下さい。また、立ち入る際には外壁のひび割れのある箇所に注意して下さい。
 コメントは判定スタッフの表記と列記とする。

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

危険度の判定

1.調査済み
全部Aランク
の場合
(要内観調査)

2.要注意
Bランクが
1以上ある
場合

3.危険
Cランクが
1以上ある
場合

判定調査表の共通判定項目

コメントの記入

(記入例)

- ・外観調査のみ実施
- ・窓ガラス、外壁にひび割れがあるため、注意が必要です。
- ・構造躯体の1階の柱が損傷を受けており、注意が必要です。
- ・自動販売機が転倒する危険性があります。

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表 (記入例) RC

調査番号: 1234-10 調査日時: 〇月〇〇日午前・午後 〇時 調査回数: 〇回
 調査者氏名: (都道府県/No) 神奈川県 〇〇 〇〇 (神奈川県/〇〇〇〇〇-〇〇〇〇)
 事務所: 〇〇 〇〇 〇〇 (神奈川県/〇〇〇〇〇-〇〇〇〇)

建築物概要
 1. 建築物名称: トララビル 1.1 建築物番号: 〇-10
 2. 建築物所在地: 〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番地 2.1 在宅地(管理番号): 1234
 3. 建築物用途: 1. 用途(専用住宅) 2. 長期間住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 ⑥ 事務所 7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場 12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場・遊藝場等 16. その他()
 4. 構造種別: ①鉄筋コンクリート造 2. プレキャストコンクリート造 3. ブロック造 4. 鉄骨鉄筋コンクリート造 5. 混合構造 () と ()
 5. 階数: 地上 〇階 地下 〇階
 6. 建築物規模: 1階寸法: 約 〇. 〇〇 m × 〇. 〇〇 m

調査方法: ①外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施
 1 一見して危険と判定される。(該当する場合は〇を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
 2 調査項目は必ず記入

1. 建築物全体又は一部の損傷・劣化	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

判定	Aラック	Bラック	Cラック
① 1階床面以上の構造部材の有無	1. 無し	② あり	
② 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	① 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり
③ 地盤破壊による建築物全体の沈下	① 0.2m以下	2. 0.2m~1.0m	3. 1.0m超
④ 不同沈下による建築物全体の傾斜	① 1/60以下	2. 1/60~1/30	3. 1/30超
⑤ 柱の被害(下記③④の調査用(縦方向)の傾) (傾斜の場合は柱を壁の長りに読みかえる)			
⑥ 傾度Vの柱本数/調査柱本数	傾度Vの柱総数 ①本 調査柱 16本(調査率: 55%)		
⑦ 傾度Vの柱本数/調査柱本数	① 1%以下	2. 1%~10%	3. 10%超
⑧ 傾度Vの柱本数/調査柱本数	傾度Vの柱総数 ②本 調査柱 16本(調査率: 55%)		
⑨ 傾度Vの柱本数/調査柱本数	① 10%以下	② 10%~20%	③ 20%超
判定①	1. 調査済	② 要注意	3. 危険
判定②	④ ラックが1の場合	⑤ ラックが1以上又はBラックが2以上	
危険度の判定	1. 調査済み	② 要注意	3. 危険

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

判定	Aラック	Bラック	Cラック
① 窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	② 損み、ひび割れ	3. 落下の危険あり
② 内装材(モルタル・タイル・石貼り等)	1. ほとんど無被害	② 部分的なひび割れ、剥離	3. 調査のひび割れ、剥離
③ 外装材(ALC板・PC板・金属・ブロック等)	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 調査で見逃され、剥離
④ 屋根・屋根材	① 剥離無し	2. わずかな剥離	3. 落下の危険あり
⑤ 外壁補修	① 剥離無し	2. わずかな剥離	3. 用材交換
⑥ その他()	1. 安全	② 要注意	3. 危険
危険度の判定	1. 調査済み	② 要注意	3. 危険

総合判定: 調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。
 1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等の危険かなどを記入する)
 ・ 外観調査のみ実施
 ・ 構造躯体の1階の柱が損傷を受けており、注意です。
 ・ 窓ガラス、外壁にひび割れがあり、落下危険物も注意です。

備考欄は必ず記入



判定標識の記入・貼付

応急危険度判定結果

要注意

LIMITED ENTRY

◆この建築物に立ち入る場合は十分注意して下さい
◆応急的に補強する場合には専門家にご相談下さい

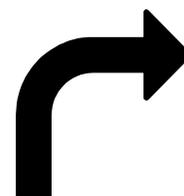
建築物名称

注記：

整理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

災害対策本部 電話 -



建物の目立つ所に貼ります。

記入後

← 建築物名称

← 注記

← 整理番号

← 判定日時

← 災害対策本部の名称及び電話番号

判定標識の記入・貼付

応急危険度判定結果	
要注意	
LIMITED ENTRY	
◆この建築物に立ち入る場合は十分注意して下さい ◆応急的に補強する場合には専門家にご相談下さい	
建築物名称	
注記：	
整理番号	
判定日時	月 日 午前・午後 時現在
<input type="text"/>	災害対策本部 電話 -

注記欄のコメント記入例

(記入例)

- ・外観調査のみ実施
- ・窓ガラス、外壁にひび割れがあるため、注意が必要です。
- ・構造躯体の1階の柱が損傷を受けており、注意が必要です。
- ・自動販売機が転倒する危険性があります。

居住者等への説明



被災者の**不安**を解消することも大切です。

鉄骨造の調査

調査表(手帳P. 101)

判定手帳P. 70

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表(記入例)

整理番号 75 L-07 調査日時 〇月〇〇日午前(〇時)時 調査回数 回目 整理番号 75 L-07
調査者氏名(姓通称名) 香取 豊 香取 豊 香取 豊

建築物概要
1. 建築物名称 プレート自動車工場 1.1. 建築物番号 07-1
2. 建築物所在地 光が丘0-00-1 2.1. 住宅地図整理番号 75 L
3. 建築物用途 1. 戸建て専用住宅 2. 長屋住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所
7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 ① 工場
12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他()

4. 構造形式 1. ラーメン構造 ② プレート構造 3. プレキャスト 4. その他()
5. 階数 地上 2 階 地下 〇 階
6. 建築物規模 1階寸法 約 20 m × 15 m

調査方法: ① 外観調査のみ実施 ② 内観調査も併せて実施
1 一見して危険と判定される。(該当する場合は〇を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
1. 建築物全体又は一部の傾斜・落路 2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜 4. その他()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	① 危険なし	2. 不明確	3. 危険あり
② 不同沈下による建築物全体の傾斜	① 1/300以下	2. 1/300~1/100	3. 1/100超
③ 建築物全体又は一部の傾斜	① 1/100以下	2. 1/100~1/30	3. 1/30超
④ 構造躯体の腐食	1. 無し	② 初期腐食あり	3. 全体腐食あり(著しい腐食程度)
⑤ 基礎の腐食	1. 20%以下	② 30%~50%	3. 50%超
⑥ 外観調査及び傾斜の観察	① 無し	② 一部腐食あり(危険)	3. 30%以上の腐食
⑦ 基礎の傾斜	① 無し	2. 若干あり	3. 著しい
⑧ 基礎の腐食	① 2/3以下無し	2. 若干に著しい腐	3. 大部分に著しい腐食
危険度の判定	① 調査済み 全部Aランクの場合	② 調査済み Bランクが3以内の場合	③ 危険 Cランクが1以上ある場合 4以上

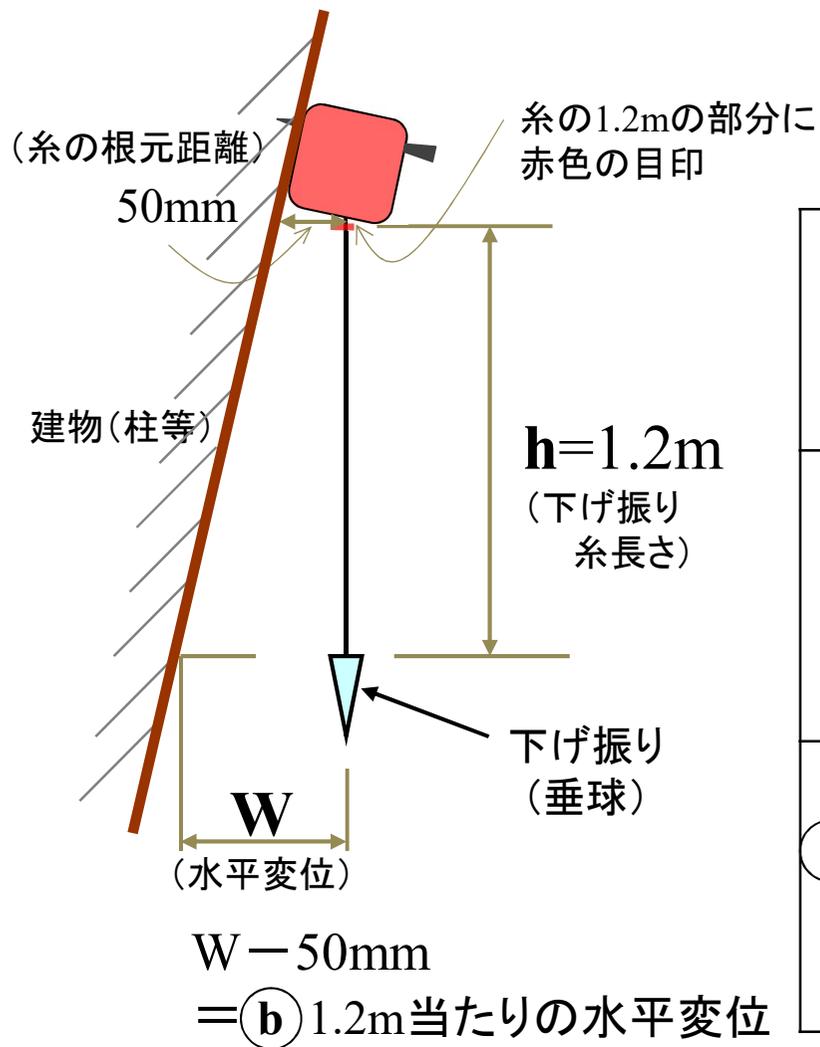
総合判定(調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する)。
1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) ③ 危険(赤)

コメント(構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する)。
外観調査のみ実施
柱の歪みや鉄骨の腐食が部分的にあり、構造上には要注意です。
自動販売機が転倒する危険性があります。除去するなどの対策を講じるようにして下さい。
コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

	Aランク	Bランク	Cランク
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険なし	2. 不明確	3. 危険あり
② 不同沈下による建築物全体の傾斜	1. 1/300以下	2. 1/300~1/100	3. 1/100超

傾斜測定法(例)

(※ 表の **b** 欄を見る)



ランク	A	B	C
傾斜 (部材角)	1/300 以下	1/300~ 1/100	1/100
b 1.2m当たりの 水平変位	4mm 以下	4mm超~ 12mm以下	12mm超

鉄骨造の調査

調査表(手帳P. 101)

判定手帳P. 71

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び 構造躯体に関する危険度

③建築物全体
又は
一部の傾斜

Aランク

Bランク

Cランク

傾斜を生じた
階の上の階
数が1階以下
の場合

1. 1/100
以下

2. 1/100~
1/30

3. 1/30超

傾斜を生じた
階の上の階
数が2階以上
の場合

1. 1/200
以下

2. 1/200~
1/50

3. 1/50超

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表(記入例)

整理番号 75L-07 調査日時 〇月〇〇日午前〇時 調査回数 回目
調査者氏名(都道府県/No) 神奈川県 横浜 神奈川県 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
市 区 町 丁目 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

建築物概要
1. 建築物名称 プレート自動車工場 1.1 建築物番号 05-7
2. 建築物所在地 東京都中央区 2.1 住宅地調整番号 75L
3. 建築物用途 1. 店舗・事務所 2. 住居住宅 3. 共同住宅 4. 療用住宅 5. 店舗 6. 事務所
7. 店舗・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場
12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他()

4. 構造形式 1. ラーメン構造 2. プレート構造 3. プレキャスト 4. その他()
5. 階数 地上 2 階 地下 〇 階
6. 建築物規模 1. 階寸法: 約 20 m x 1 15 m

調査・判定方法: ① 外観調査のみ実施 ② 内観調査も併せて実施
1. 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付付危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
1. 建築物全体又は一部の崩壊・陥没 2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜 4. その他()

2. 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	①危険無し	2.不明	3.危険あり
②不安定な土による建築物全体の傾斜	①1/200以下	2.1/30~1/100	3.1/30超
③建築物全体又は一部の傾斜	①1/200以下	2.1/100~1/20	3.1/30超
傾斜を生じた階の上の階数が1階以下の場合	①1/200以下	2.1/30~1/100	3.1/30超
傾斜を生じた階の上の階数が2階以上の場合	①1/200以下	2.1/200~1/50	3.1/50超
④基礎の腐蝕の有無	1.無し	②局部腐蝕あり	3.全体腐蝕あり(著しい傾斜危険)
⑤基礎の腐蝕率	1.20%以下	②30%~50%	3.50%超
⑥柱梁接合部及び継手の腐蝕	①無し	2.一部腐蝕あり(危険)	3.20%以上の腐蝕
⑦柱梁の腐蝕	①無し	2.一部腐蝕あり	3.著しい
⑧鋼材の腐蝕	①ほとんど無し	2.著しい腐蝕	3.孔開き(貫通)がある
危険度の判定	1.調査済み 2.調査済み 3.調査済み	②注意 ③注意 4.注意	③危険 ④危険 5.危険

3. 傾斜建築物・周辺地盤等に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①基礎材	①ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破壊
②基礎・地盤の沈下	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破壊
③傾斜材・掘削の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なずれ、陥没	3.全面的にずれ、陥没
④傾斜材・掘削の場合	1.日地の地質程度	②傾斜に陥没が見られる	3.顕著なずれ、陥没
⑤壁・覆土類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.顕著な傾斜
⑥壁外傾斜	①傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.顕著な傾斜
⑦その他(自由傾斜)	1.安全	2.注意	③危険
危険度の判定	1.調査済み 2.調査済み	②注意 ③注意	③危険 ④危険 5.危険

総合判定(調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

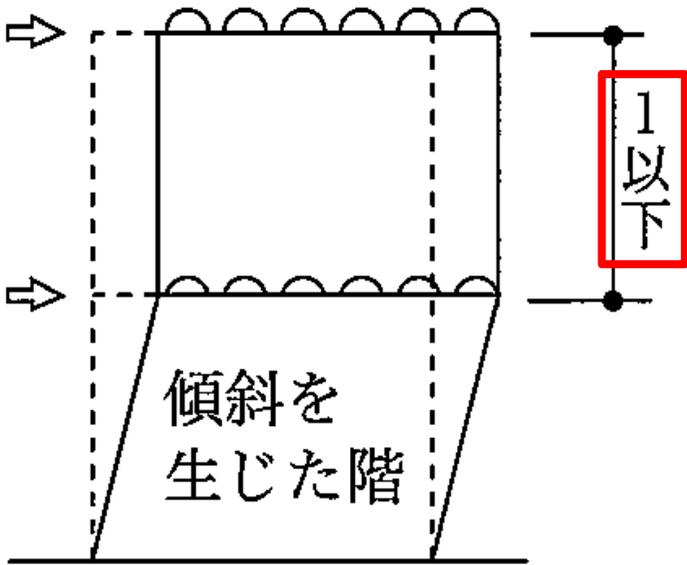
コメント(構造躯体等の危険が、落下物等危険などを記入する。)

- 外観調査のみ実施
- 柱の変形や筋かいの腐蝕が部分的にあり、構造的には要注意です。
- 自動車売場が傾斜する危険性があります。除去するなどの対策を講じるようにして下さい。

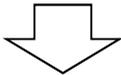
コメントは判定スタッフの注記と同じとする。

① 建築物全体 (建築物の傾斜)

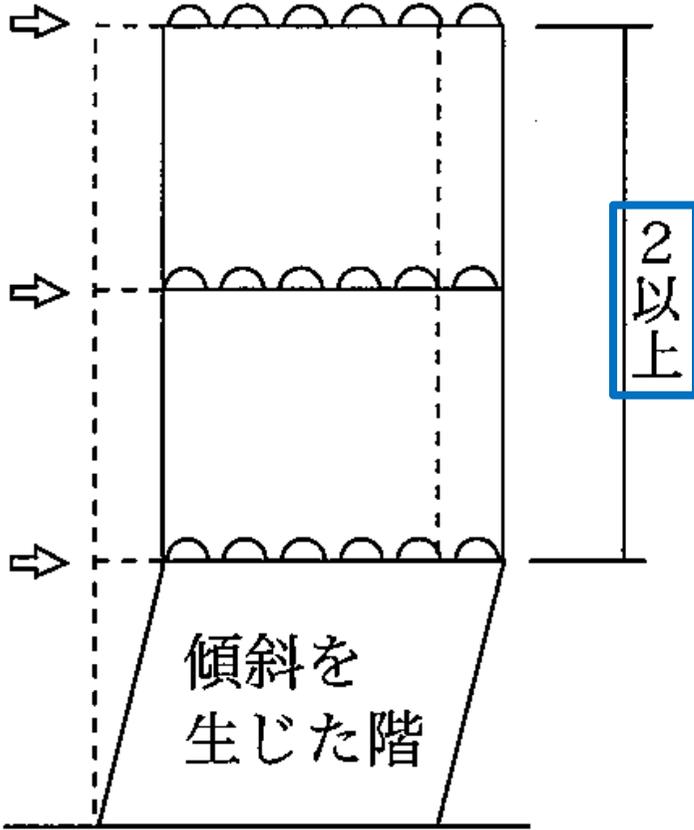
鉄骨造



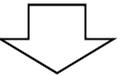
上の階が1以下



P. 72の上の表



上の階が2以上



P. 72の下の表

判定手帳 P. 72

鉄骨造、2階建て

1階が
大きく傾斜



判定手帳 P. 72

鉄骨造、3階建て

1・2階が
大きく傾斜

1階の階高は
3m程度



鉄骨造の調査

調査表(手帳P. 101)

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び 構造躯体に関する危険度

(※④～⑧の各調査は、被害が最も大きい階で行う)

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表(記入例)

整理番号 75L-②-1 調査日時 〇月〇〇日午前〇時 調査回数 回目
調査者氏名(都道府県/No) 神奈川県 藤部 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
〒 〇〇〇〇〇 〇〇

建築物概要
1. 建築物名称 プレート自動車工場 1.1 建築物番号 ②-1
2. 建築物所在地 5. A1区C-②-1 2.1 住宅地区整理番号 75L
3. 建築物用途 1. 戸建て専用住宅 2. 仮居住宅 3. 共同住宅 4. 専用住宅 5. 店舗 6. 事務所
7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 ①. 工場
12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他()

4. 構造形式 1. ラーメン構造 ③ プレース構造 3. プレキャスト 4. その他()
5. 階数 地上 2 地下 〇 階
6. 建築物規模 1階寸法 約 20 m x 15 m

調査方法: ① 外観調査のみ実施 ② 内観調査も併せて実施
1. 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
2. 建築物全体又は一部の腐蝕・落離 3. 基礎の著しい破損、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜 4. その他()

2. 隣接建築物、周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
④部材の座屈の有無	1. 無し	2. 局部座屈あり	3. 全体座屈あるいは著しい局部座屈
⑤筋違の破断率	1. 20%以下	2. 20%～50%	3. 50%超
⑥柱梁接合部及び継手の破壊	1. 無し	2. 一部破断あるいは亀裂	3. 20%以上の破断

総合判定(調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント(構造躯体等の危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)
- 外観調査のみ実施
- 柱の変形や筋かいの破損が部分的にあり、構造的には要注意です。
- 自動販売機が転倒する危険性があります。除去するなどの対策を講じるようにして下さい。
コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

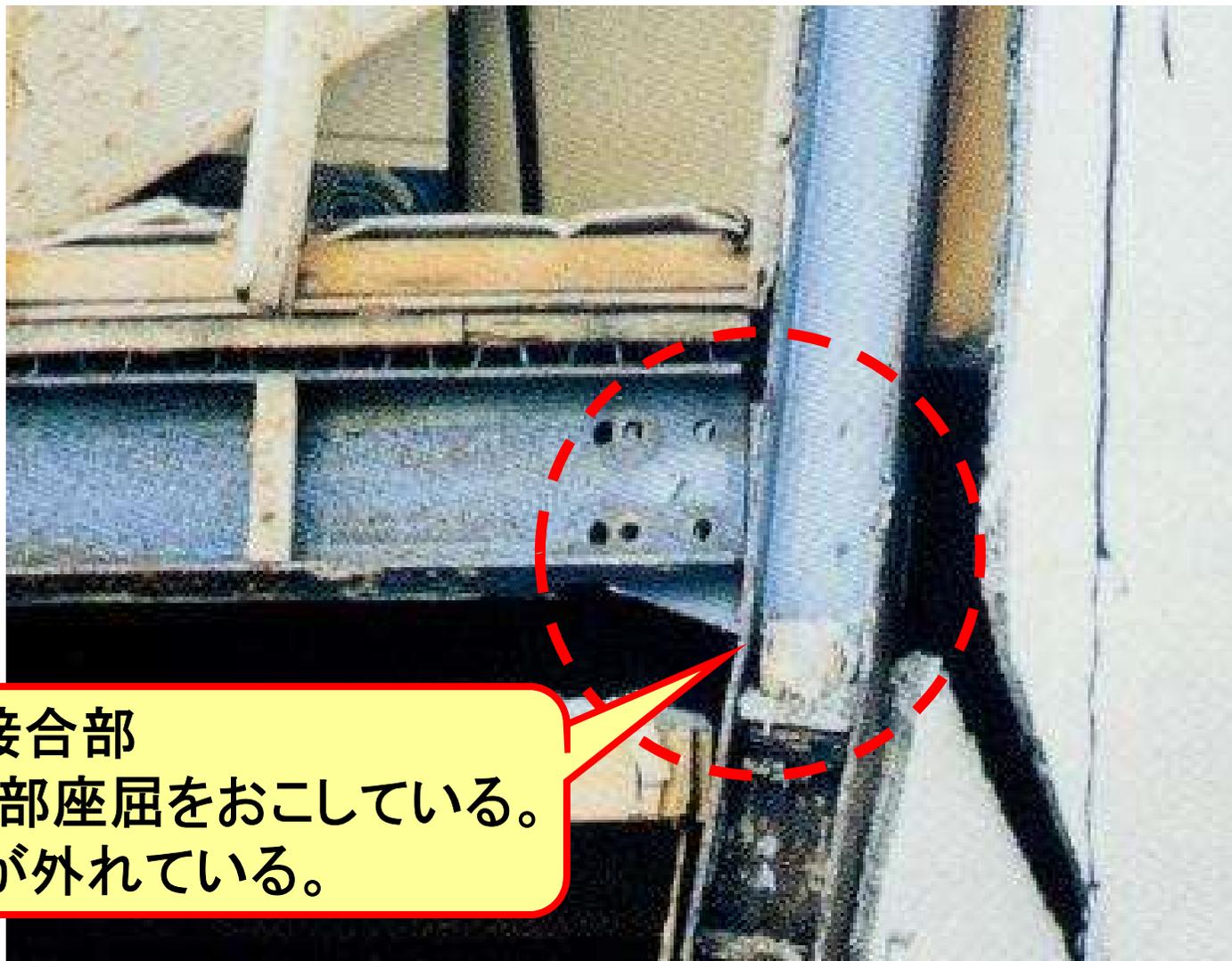
	Aランク	Bランク	Cランク
④部材の座屈の有無	1. 無し	2. 局部座屈あり	3. 全体座屈あるいは著しい局部座屈
⑤筋違の破断率	1. 20%以下	2. 20%～50%	3. 50%超
⑥柱梁接合部及び継手の破壊	1. 無し	2. 一部破断あるいは亀裂	3. 20%以上の破断

判定手帳P. 73

㊦ 部材の座屈の有無

調査表(手帳P. 101)

調査2 ㊦ 部材の座屈の有無



柱－梁接合部

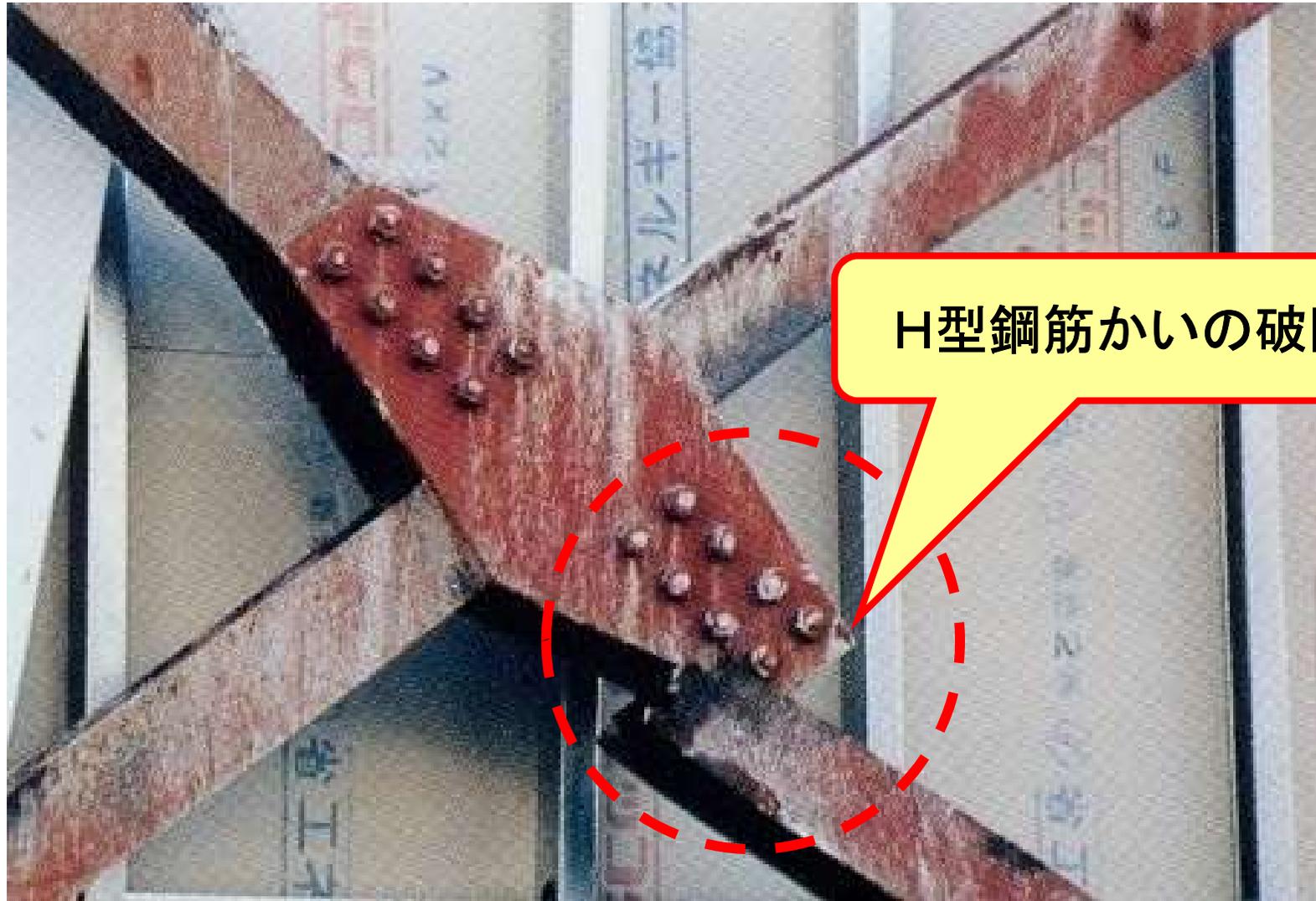
- ・柱が局部座屈をおこしている。
- ・ボルトが外れている。

判定手帳P. 73

① 筋かいの破断率

調査表(手帳P. 101)

調査2 ⑤筋違の破断率



H型鋼筋かいの破断

判定手帳P. 73

① 筋かいの破断率

調査表(手帳P. 101)

調査2 ⑤筋違の破断率



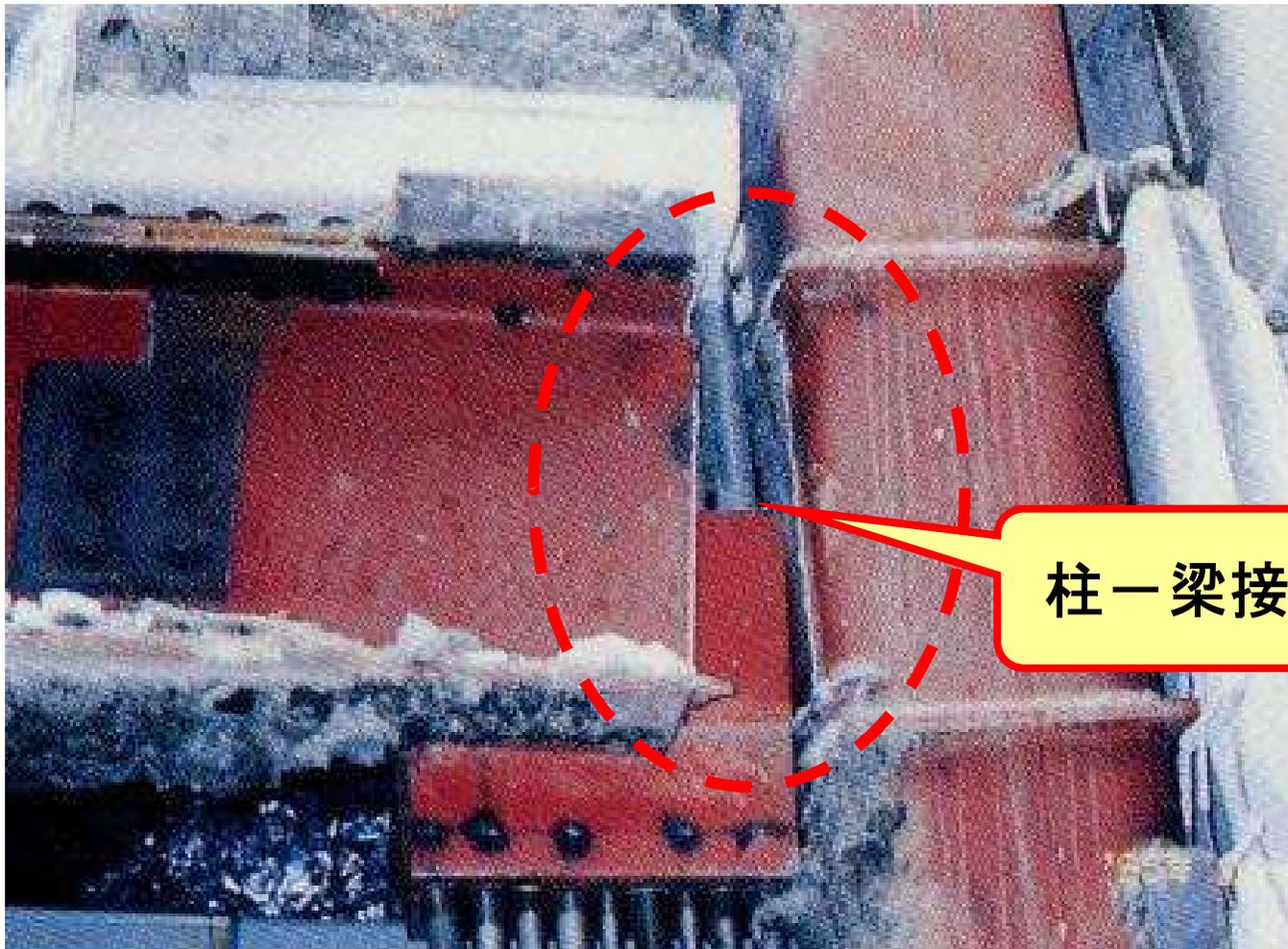
筋かいの座屈は、
「④部材の座屈の有無」ではなく、
「⑤筋違の破断率」で判定する。

判定手帳P. 74

㊦ 柱-梁接合部および継手の破損

調査表(手帳P. 101)

調査2 ㊦ 柱梁接合部及び継手の破壊



柱-梁接合部の損傷

判定手帳P. 74

㊦ 柱-梁接合部および継手の破損

調査表(手帳P. 101)

調査2 ㊦ 柱梁接合部及び継手の破壊



柱-梁接合部の損傷

鉄骨造の調査

調査表(手帳P. 101)

判定手帳P. 74、75

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び 構造躯体に関する危険度

(※④～⑧の各調査は、被害が最も大きい階で行う)

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表 (記入例)

整理番号 75L-②-1 調査日時 〇月〇〇日午前 〇時 調査回数 回目
調査者氏名(都道府県/No) 神奈川県 藤 部 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
西 藤 鉄 治 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

建築物概要
1. 建築物名称 プレート自動車工場 2.1 建築物番号 〇5-7
2. 建築物所在地 東京都中央区 2.1 住宅地調整番号 75L
3. 建築物用途 1. 戸建住宅用住宅 2. 仮居住宅 3. 共同住宅 4. 専用住宅 5. 店舗 6. 事務所
7. 店舗・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 ①. 工場
12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊藝場等 16. その他()

4. 構造形式 1. ワーメン構造 ② プレース構造 3. プレキャスト 4. その他()
5. 階数 地上 2 階 地下 〇 階
6. 建築物規模 1. 階寸法: 約 20 m x 1 15 m

調査・判定方法: ① 外観調査のみ実施 ② 内観調査も併せて実施
1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付し危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
1. 建築物全体又は一部の崩壊・陥没 2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜 4. その他()

2. 隣接建築物、周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	① 危険無し	2. 不明	3. 危険あり
② 不安定な土による建築物全体の傾斜	① 200L以下	2. 3/300-1/300	3. 3/300
③ 建築物全体又は一部の傾斜	① 1/1000以下	2. 3/100-1/200	3. 3/300
傾斜寸法(土の厚みとの割合)が階以上の傾斜	1. 1/2000以下	2. 3/100-1/200	3. 3/300
傾斜寸法(土の厚みとの割合)が階以上の傾斜	1. 1/2000以下	2. 3/100-1/200	3. 3/300
④ 基礎の腐食の有無	1. 無し	② 局部腐食あり	3. 全体腐食あり(著しい陥没陥没)
⑤ 基礎の腐食率	1. 20%以下	② 30%-50%	3. 50%超
⑥ 柱脚の腐食の有無	① 無し	2. 一部腐食あり(はさみ)	3. 20%以上の腐食
⑦ 柱脚の腐食	① 無し	2. 一部腐食あり	3. 著しい
⑧ 腐食の有無	① ほとんど無し	2. 各所に著しい錆	3. 孔所が各所に現れる
危険度の判定	1. 調査済み Aランクの場合	② 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上又はBランクが4以上

3. 建築物の危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① 腐食材	① ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面にずれ、破壊
② 窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	② 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険あり
③ 内装材(床式の場合)	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、陥没	3. 重要なひび割れ、剥離
④ 外装材(乾式の場合)	1. 日地の亀裂程度	② 陥没に陥没が見られる	3. 重要なひび割れ、剥離
⑤ 屋根・屋根材	1. 傾斜無し	② わずかな傾斜	3. 落下の危険あり
⑥ 壁外装材	① 傾斜無し	② わずかな傾斜	3. 陥没・傾斜
⑦ その他(目録参照)	1. 安全	2. 要注意	③ 危険
危険度の判定	1. 調査済み Aランクの場合	② 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) ③ 危険 (赤)

コメント (構造躯体等の危険か、落下物等の危険かなどを記入する。)

- 外観調査のみ実施
- 柱の変形や筋かいの腐食が部分的にあり、構造的には要注意です。
- 自動車売場が転倒する危険性があります。除去するなどの対策を講じるようにして下さい。
コメントは判定スタッフの注記と同じとする。

	Aランク	Bランク	Cランク
⑦ 柱脚の 破損	1. 無し	2. 部分的	3. 著しい
⑧ 腐食の 有無	1. ほとんど 無し	2. 各所に 著しい錆	3. 孔所が 各所に見ら れる

鉄骨造の調査

調査表(手帳P. 101)

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び 構造躯体に関する危険度

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表 (記入例)

整理番号 75L-07 調査日時 〇月〇〇日午前〇時 調査回数 回目
調査者氏名 (都道府県/No) 神奈川県 藤 藤 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
西 藤 藤 治 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

建築物概要
1 建築物名称 プレート自動車工場 1.1 建築物番号 07-7
2 建築物所在地 支が丘07-7 2.1 住宅地誌整理番号 75L
3 建築物用途 1. 店舗・事務所 2. 長年住宅 3. 共同住宅 4. 専用住宅 5. 店舗 6. 事務所
7. 店舗・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 ① 工場
12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他 ()

4 構造形式 1. ラーメン構造 ② プレース構造 3. プレキャスト 4. その他 ()
5 階数 地上 2 階 地下 〇 階
6 建築物規模 1階寸法: 約 20 m x 15 m

調査・調査方法: ① 外観調査のみ実施 ② 内観調査も併せて実施
1 一見して危険と判定される。 (該当する場合は○を付付危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
1. 建築物全体又は一部の崩壊・陥没 2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜 4. その他 ()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	① 危険無し	② 不明	③ 危険あり
② 非規定による建築物躯体の傾斜	① 1/200以下	② 1/300-1/100	③ 1/100未満
③ 建築物全体又は一部の傾斜	① 1/100以下	② 1/300-1/200	③ 1/100未満
傾斜寸法(土留りの高さ)の測定(土留りの高さ)	① 1/100以下	② 1/300-1/200	③ 1/100未満
傾斜寸法(土留りの高さ)の測定(土留りの高さ)	① 1/100以下	② 1/300-1/200	③ 1/100未満
④ 基礎の腐蝕の有無	① 無し	② 局部腐あり	③ 全体腐あり(著しい腐蝕あり)
⑤ 基礎の腐蝕率	① 20%以下	② 30%-50%	③ 50%超
⑥ 柱・梁の腐蝕の有無	① 無し	② 一部腐あり(又は亀裂)	③ 30%以上の腐蝕
⑦ 柱・梁の腐蝕	① 無し	② 一部腐あり	③ 著しい
⑧ 鉄筋の腐蝕の有無	① 4mm未満	② 5mm以上	③ 6mm以上
⑨ 鉄筋の腐蝕	① 調査済み	② 調査済み	③ 危険
危険度の判定	① 調査済み	② 調査済み	③ 危険

3 構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
① 躯体材	① はとんと無被害	② 著しいずれ	③ 全面的にずれ、破壊
② 躯体材の割れ	① はとんと無被害	② 歪み、ひび割れ	③ 歪み、ひび割れ、剥離
③ 躯体材の剥離	① はとんと無被害	② 剥離が見られる	③ 剥離が著しい、剥離
④ 躯体材の剥離	① はとんと無被害	② 剥離が見られる	③ 剥離が著しい、剥離
⑤ 躯体材の剥離	① はとんと無被害	② 剥離が見られる	③ 剥離が著しい、剥離
⑥ 躯体材の剥離	① はとんと無被害	② 剥離が見られる	③ 剥離が著しい、剥離
⑦ その他 (目録参照)	① 安全	② 要注意	③ 危険
危険度の判定	① 調査済み	② 調査済み	③ 危険

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

外観調査のみ実施
柱の歪みや割れ等の被害が部分的にあり、構造上は要注意です。
自動車工場が転倒する危険性があります。除去するなどの対策を講じるようにして下さい。
コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

<p>危険度の判定</p>	<p>1.調査済み 全部Aランクの場合 (要内観調査)</p>	<p>2.要注意 Bランクが 3以内の場合</p>	<p>3.危険 Cランクが 1以上又は Bランクが 4以上</p>
---------------	---	-----------------------------------	---

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造の調査

調査表(手帳P. 103)

判定手帳P. 76~77

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表(記入例) RC

整理番号: 18R-09-10 調査日時: 〇月〇〇日午前/午後 〇時 調査回数: 第〇回
調査者氏名(都道府県/No): 神奈川県 元 氏 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
建築物概要: 西 部 大 夫 (神奈川県/〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

1. 建築物名称: トラファビル 1.1 建築物番号: 〇-10
2. 建築物所在地: 桜が丘〇-10 2.1 住宅地図整理番号: 18R
3. 建築物用途: 1. 戸建て専用住宅 2. 長期間住宅 3. 共同住宅 4. 排用住宅 5. 店舗 6. 事務所 7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場 12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場・遊藝場等 16. その他()
4. 構造種別: ①鉄筋コンクリート造 2. アレキストコンクリート造 3. アロック造 4. 鉄骨鉄筋コンクリート造 5. 混合構造()と()
5. 階数: 地上 5 階 地下 1 階
6. 建築物規模: 1階寸法 約 30.0m x 20.0m

調査方法: ①外観調査のみ実施 ②内観調査も併せて実施
1. 一度して危険と判定される。(該当する場合は〇を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)
1. 建築物全体又は一部の損傷・崩落 2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾倒 4. その他()

2. 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

項目	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤等に関する危険度	1. 無し	2. あり	3. あり
②隣接建築物・周辺地盤等に関する危険度	1. 0.2m以下	2. 0.2m~1.0m	3. 1.0m超
③不固低下による建築物全体の傾動	1. 1/60以下	2. 1/60~1/30	3. 1/30超
④傾倒度Vの柱本数/調査柱本数	1. 1%以下	2. 1%~10%	3. 10%超
⑤傾倒度Vの柱本数/調査柱本数	1. 10%以下	2. 10%~20%	3. 20%超

危険度の判定: 1. 調査済 2. 要注意 3. 危険
判定: 2

3. 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

項目	Aランク	Bランク	Cランク
①窓ガラス	1. ほとんど無損	2. 破れ、ひび割れ	3. 落下の危険有り
②内装材(床材・天井・タイル・石膏ボード等)	1. ほとんど無損	2. 破れ、ひび割れ	3. 調査なし
③外装材(ALC板・PC板・金属・ブロッコ等)	1. 目視で危険有り	2. 目視で危険有り	3. 調査なし
④屋根・屋根材	1. 調査済	2. 調査済	3. 調査済
⑤壁引離れ	1. 調査済	2. 調査済	3. 調査済
⑥その他	1. 安全	2. 要注意	3. 危険

危険度の判定: 1. 調査済 2. 要注意 3. 危険
判定: 2

総合判定: 調査の1で危険と判定された場合は危険。それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。
1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント: (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)
・ 外観調査のみ実施
・ 構造躯体の1階の柱が損傷を受けており、要注意です。
・ 窓ガラス、外壁にひび割れがあり、落下危険物も要注意です。
コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

(※①の調査は、被害が最も大きい階で行う。)

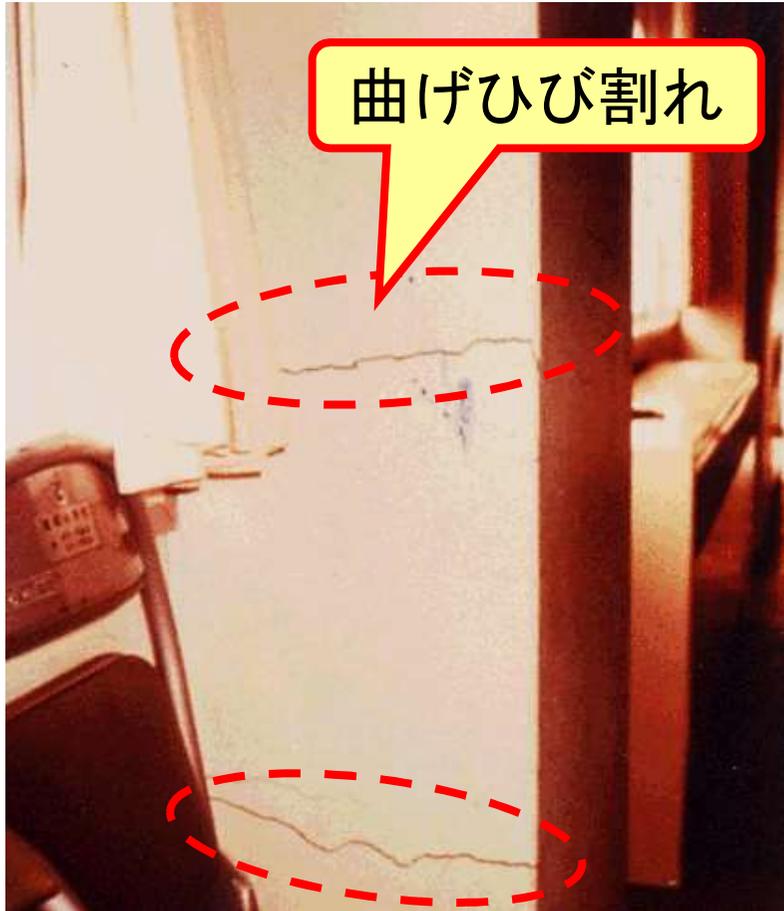
(※ラーメン構造では、最も被害の著しい方向の柱の被害に着目して判定)

判定(1)	Aランク	Bランク	Cランク
① 損傷度III以上の損傷部材の有無	1. 無し	2. あり	

判定手帳P. 76~77

調査表(手帳P. 103)

調査2 ①損傷度Ⅲ以上の部材の有無



損傷度Ⅱ



損傷度Ⅲ

判定手帳 P. 76 ~ 77

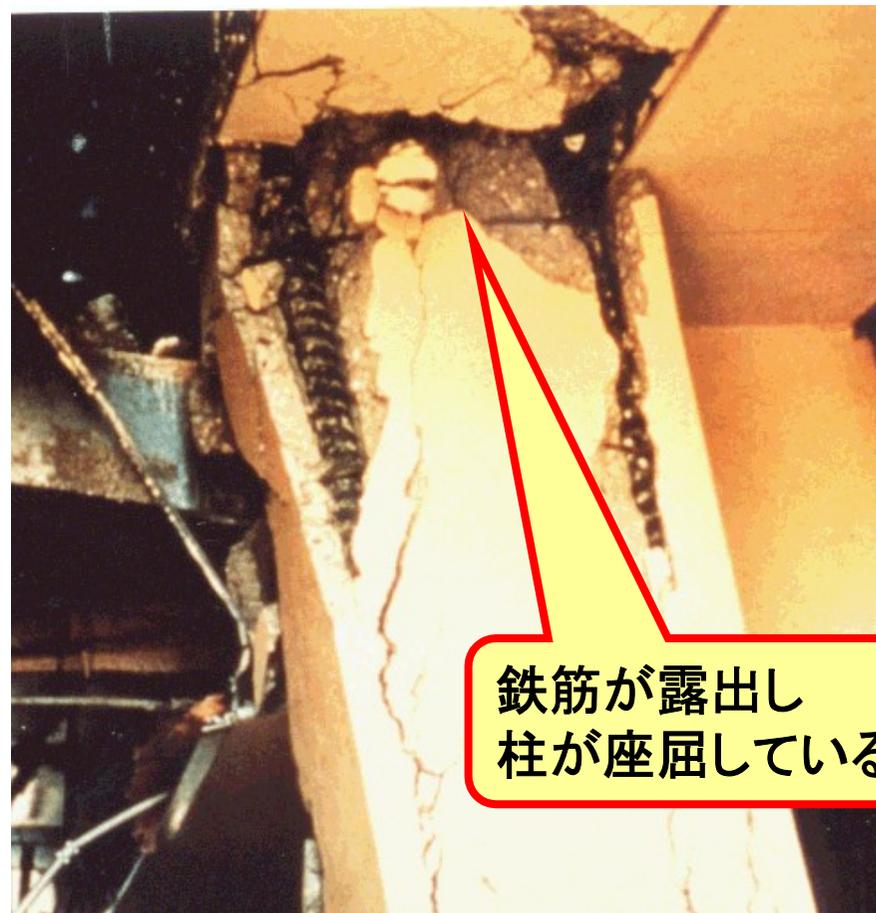
調査表 (手帳 P. 103)

調査2 ① 損傷度Ⅲ以上の部材の有無



かぶりが剥離、
鉄筋が露出している

損傷度Ⅳ



鉄筋が露出し
柱が座屈している

損傷度Ⅴ

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造の調査

調査表(手帳P. 103)

調査2 隣接建築物・周辺地盤等及び 構造躯体に関する危険度

(※⑤,⑥の調査は、被害が最も大きい階で行う。)

判定(2)	Aランク	Bランク	Cランク
⑤ 損傷度Vの 柱本数 / 調査柱本数	損傷度Vの柱本数 <u> </u> 本 調査柱 <u> </u> 本 (調査率 <u> </u> %)		
	1. 1%以下	2. 1%~10%	3. 10%超
⑥ 損傷度IVの 柱本数 / 調査柱本数	損傷度IVの柱本数 <u> </u> 本 調査柱 <u> </u> 本 (調査率 <u> </u> %)		
	1. 10%以下	2. 10% ~20%	3. 20%超

特殊構法の判定

枠組壁構法(ツーバイフォー)や、木造プレファブ構法等は、木造の判定調査表を用いて、構法上の相違を勘案して判定を行う。

併用構造の判定

鉄筋コンクリート造+木造等の併用構造は、全体の被害状況を考慮の上、各判定基準に準拠して判定を行う。

大規模建築物等の判定

鉄筋コンクリート造の高層建築物(10階以上または31m以上のもの)や、鉄骨造の高層建築物(45mを超えるもの)、大スパン構造、吊り構造等の建築物については、構造上の特性を考慮のうえ、それぞれ構造種別ごとに判定を行う。

応急危険度判定とは

大地震発生後の余震等による
人的二次災害を防止するため、
被災建築物を応急的に判定し、
居住者等に情報を提供すること。

皆様のご協力をお願いします。

神奈川県震災建築物 応急危険度判定講習会

神奈川県建築物震後対策推進協議会